

～KICK BOXING 戦闘甲斐士13～ <山梨選抜 vs 国内強豪>

主催：山梨県キックボクシング協会 認定：JAPAN KICKBOXING INNOVATION

2013. 11. 3 (日) 場所：日本航空学園J-シップホール 戦闘甲斐士16：00～

<試合結果>

メインイベント／フェザー級交流戦 57.5kg 契約 3分3R (SD1) <山梨VS新潟>

ORYOTA (マイウェイジム／INNOVATION日本フェザー級王者&UKF東アジア同級王者)

×阿部泰彦 (JMNジム／新日本バンタム級6位)

判定=2-0 (30-30 30-29 30-29)

※RYOTAはいつも通りのテンポとコンビネーション攻撃でペース作りが上手い。しかし阿部もベテランらしくテンポの良い切り返し攻防が光る。2人のハイレベルな攻防が観客席にも伝わり随所に拍手が沸いた。RYOTAは調整不足からか、いつもの後半のスピードが出なかったが、むしろベテラン阿部の老獪さが際立った。僅かながらローキックの差がポイントになり、RYOTAが地元の声援も味方にメインを締めた。

セミファイナル／S. フェザー級<INNOVATION日本王座・次期挑戦者決定戦> 3分5R (SD1)

◎竜 誠 (ダイケンジム／日本S. フェザー級2位)

×葵拳士郎 (マイウェイジム／日本S. フェザー級5位)

1R2'32" TKO ※葵は右ハイキックで1ダウン、パンチ・膝蹴り連打で2ダウンの後、スリッ

プで

倒れたところに竜誠のキックが顔面を直撃、反則の減点2から開始した。ダウンのダメージと重なり再開直後に葵コーナーからタオル投入となった。圧倒的な攻撃力で一番の盛り上がりを見せた試合だっただけに、「反則してすいません、次期挑戦者として葵選手の方まで頑張ります。」との本人のコメントを信じたい。

第8試合 INNOVATIONウェルター級／3分3R (SD1) <山梨VS愛媛>

×フランケン直闘 (ダイケンジム／日本S. ウェルター級7位)

◎門田哲博 (武勇会／日本S. ウェルター級10位)

3R=1-0 延長4R0'0" TKO ※ひじ打ちのカットでDr. ストップ

第7試合 INNOVATIONライト級<2013年度新人王トーナメント決勝> 3分3R (SD1) <山梨VS愛媛>

◎大 将 (渡辺ジム)

×津乗大貴 (武勇会)

2R2'12" KO ※右ハイキック ■大将が優勝、2013年度ライト級新人王となる。

第6試合 INNOVATIONフェザー級58kg 契約／2分3R <山梨VS東京>

○塚原 圭 (ダイケンジム)

×永島一平 (y-park)

判定=3-0 (3者とも30-27) ※2R永島はパンチで1ダウン

第5試合 INNOVATION65kg 契約／2分3R <山梨VS宮城>

×森 直樹 (ダイケンジム)

○佐藤 健 (PCK連闘会)

判定=3-0 (3者とも28-30) ※2R森はパンチで1ダウン

第4試合 INNOVATIONフェザー級／2分3R <山梨VS神奈川>

○深澤賢洋 (ダイケンジム)

×伊藤拳成 (岡澤道場湘南)

判定=1-0 (30-27 30-27 30-26) ※3R伊藤はパンチで1ダウン

第3試合 INNOVATIONライト級／2分3R<山梨VS千葉>

×中島ケイト (渡辺ジム)

○大野泰弘 (マスターズピット)

判定=3-0 (3者とも29-30)

第2試合 INNOVATIONスーパーライト級／2分3R <山梨VS宮城>

△増田侑也 (マイウェイジム)

△高橋駿友 (PCK大崎)

判定=1-0 (30-29 30-30 30-30)

第1試合 INNOVATIONミドル級／2分3R <山梨VS千葉>

△都築頼秋 (ダイケンジム)

△マイク・ジョー (拳伸ジム)

判定=0-1 (29-30 30-30 30-30)